戦争への道をひらき、暮らし破壊を進める逆立ち政治に声を上げよう！

暴走が止まらない安倍政権は、解釈変更による集団的自衛権行使の閣議決定を強行し、日本を戦争する国へと変えようとしています。一方で消費税８％を強行し、その使い道であるはずの社会保障・医療・介護を大改悪する法案を可決する暴挙を行いました。私たち日本共産党は、市民とともに、戦争する国づくりと暮らし破壊を許さないために、今後も全力で奮闘する決意です。私、升きよみは６月議会で、介護保険大改悪と政治倫理を中心に、市長の考えをただしました。

介護保険施設の指導監督状況　升質問

介護・福祉施設の不正は許されない！指導・監督結果は公表すべき。

特養ホームの建設がなかなか進まない中、近年相次いでグループホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅等の介護施設が増加しており、市民の期待が高まっています。しかし、「清泉の宿」の介護報酬の不正請求事件は他の施設への誤解も生み出しました。介護報酬の低下さよる人手不足が経営を圧迫し、利用者サービスの低下を招いているわけですが、不正は許されません。本市として、施設監査の結果、どのように指導・改善が図られたのか、また、指導監督実施結果の公表をされるべきと考えますが、いかがですか。

福祉局長答弁

平成23年度に行政処分されたのは４事業所で、介護報酬はすべて返還済みだ。実地指導は監査とは異なり、知識不足による錯誤などを正し、適正な運営・サービスが行われることを目的とするため、事業所が特定される内容の公表は行わない。

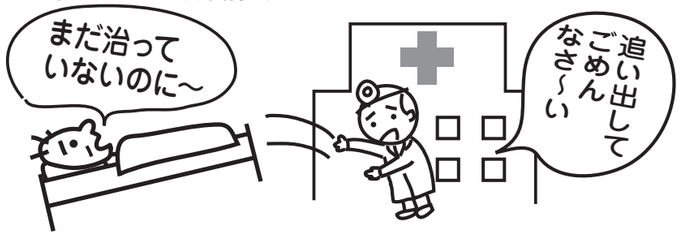
医療・介護破壊法が高齢者・市民を直撃！　升質問

歴史的大改悪　医療・介護難民が急増！国民皆保険を破壊！

6月18日、わが党が撤回を求めてきた「医療・介護総合確保推進法」が強行可決されました。これから高齢者・市民は保険料を払っても施設には入れず、地域には「包括支援システム」の名で共助・互助・自助を押付け、公的責任は縮小されます。社会保障のためと消費税を増税し、法人税減税の財源を社会保障削減で賄おうという安倍政権の本末転倒のやり方は、医療崩壊・介護難民急増を一層進め、本市にとっても深刻な事態となります。

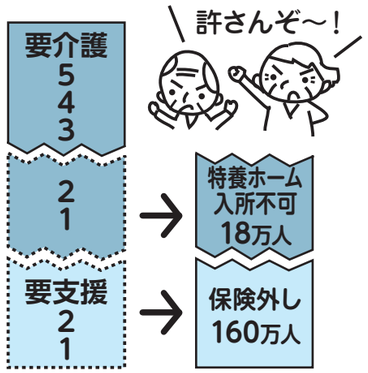
医療

- 診療報酬削減で、病院の経営危機
- 「患者追い出し」が加速
  2025年までに43万床削減
- 従わない医療機関に
  知事権限でペナルティ（罰則）



介護

- 要支援1・2を介護保険から外し
  ホームヘルプ（訪問介護）と
  デイサービス（通所介護）を取り上げ
  ボランティア、民間による
  「見守り」「配食」など市長村事業へ
- 特養ホームの入所を要介護3以上に
  待機者枠からも除外
  サービス付高齢者住宅などを受け皿にと言うが、高額負担が必要
- 利用料を1割→2割に
  （年収280万円以上の方）
- 低所得者の軽減措置を打切り



6月18日「怒りの昼デモ」に多数の市民が参加

暴走・安倍政権　憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認は許さない！

『アメリカの戦争のために、日本の若者が血を流す、これが正体だ！』国会で、わが党の志位委員長は、安倍首相が「国と国民をまもるため」と強弁する集団的自衛権の本質を指摘。この間安倍政権は、幾つもの非現実的な事例を並べ立て、憲法解釈変更の密室協議を続け、公明党も合意し、わずか１ヶ月足らずで性急な閣議決定を強行しました。今、求められているのは、憲法９条を基本に平和と安定の枠組みをつくる外交戦略です。安倍政権の歴史的暴挙に強く抗議し、閣議決定の撤回を求め、新しいたたかいを進めていく時です。

日本共産党
金沢市議団ニュース

ます 升きよみ 議会だより

ご意見ご要望をお聞かせください。

2014年 夏号
2014.6月議会

発行／日本共産党
金沢市議員団
金沢市広坂1-1-1
TEL. 220-2407
FAX.260-6588